

(別紙5)

補助事業番号 28-1-069
補助事業名 平成28年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本予防医学協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

平成28年度の検診車の整備補助事業により、胸部デジタル検診車を導入いたしました。弊会は「ウェルビーイング・ジャパン(健康日本)」の創生の一環として肺がんの死亡者数の減少を目指し、疾病による生活レベルの低下を防ぎたいと考えています。その為に、様々な受診者利益が得れる、X線装置のアナログからデジタルへの移行の推進を行ってきました。今回の導入により高感度の蛍光体を使用する事で従来に比べ低線量、短時間曝射でも高画質の画像が期待出来、画像も即座に確認できる為、より精度の高い健診が可能となりました。

本事業により、より多くの方に安心して胸部X線撮影を受けて頂ける様になり受診率の向上と疾病の早期発見が期待できます。

(2) 実施内容

胸部デジタルX線検診車 (<https://www.jpm1960.org/2016RingringH0J0.pdf>)



車両の外観 側面



背面

(別紙5)



線量計：線量を目視でも確認でき安心して受診いただけます。



ナイスコール：音声・モニター両方で息止め等を確認出来、精度の高い画像を得る。



バーコードリーダー

外部モニター

バーコード入力によるエラー防止、スピードアップ。

外部モニターにより安全性の向上、事故を防止します。

2 予想される事業実施効果

(別紙5)

今回の検診車の整備補助事業により今回老朽化した最後の胸部アナログ車をデジタル車に入れ替えが出来、全車デジタル車に変更する事が出来ました。

全車デジタル車にすることにより、従来行っていた、現像に関わる手間、コスト、リスクがなくなりその利益を受診者様にも還元することが出来ます。

またデジタルのメリットである管理面を含めた精度の向上が可能です。
今後はスムーズに比較管理を行うことにより、肺がんの死亡者数の減少、疾病による生活レベルの低下を防ぎます。

3 印刷物等

- ・ 弊会HP : <https://www.jp1960.org/> ニュース欄の[新着情報]に掲載中。
「RING!RING!プロジェクト競輪補助事業完了のお知らせ」
- ・ 社内掲示資料 : 平成28年度検診車の整備補助事業（胸部X線デジタル検診車）
PDF資料にて添付させていただきます。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般財団法人 日本予防医学協会（ニホンヨボウイガクキョウカイ）

住 所 : 〒135-0001

東京都江東区毛利1-19-10 江間忠錦糸町ビル2階

代 表 者 : 代表理事（ダイヒョウリジ）

担 当 部 署 : 神代 雅晴（クマシロ マサハル）

担 当 者 名 : 総務人事部総務課 井上 智博（イノウエ トモヒロ）

電 話 番 号 : 06-6362-5153

F A X : 06-6362-5116

E - m a i l : inoue_tomohiro@jp1960.org

U R L : <https://www.jp1960.org/>